

調達管理番号・案件名

24a00469_マラウイ国コメ生産及びマーケティングの促進プロジェクト

質問と回答は以下のとおりです。

2024年7月24日

質問番号	ページ	項目	質問内容	回答
1	0	配布資料:Record of Discussion Annex 2: Main Points Discussed 3. Target beneficiaries and locations for pilot activities and selection criteria	ブワンジバレーまたはリフウ(Lifuwu)に位置している農家組織(灌漑地区)を選定する記載がありますが、リフウから選定することで先方政府とは合意されていないとの理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおり。ブワンジバレーに加えてもう1つのサイトは、最終的に事業開始後先方政府と合意する予定です。
2	1	第1章 企画競争の手続き 1. 競争に付する事項 (4)契約履行期間(予定)第3期	第3期:2027年7月~2029年9月となっておりますが、第2期は2027年5月迄となっておりますので、2027年6月~2029年9月ではないのでしょうか。	ご指摘のとおりです。想定第3期は2027年6月~2029年9月となります。
3	9	企画競争説明書9頁他、第2章 特記仕様書案	「強化された認証種子の供給と需要をどのようにマッチングさせるかについて提案すること。」ここで言う認証種子は、改良種子のことでしょうか？また、民間が認証した種子も含まれるのでしょうか？	改良種子を指しているわけではないので、「強化された」の文言を削除します。民間の認証種子が入手できる場合は、そちらも対象とする可能性はあります。
4	11	「2. 本業務に係る実施方針及び留意事項 (1)本業務の概要」他	「トレードチャンネル」という語(RD内ではTrade channelまたはTrading channel)が出てきますが、文脈から察するに「マーケティングチャンネル」のことを指しているとの理解です。マラウイでは慣例的に「トレードチャンネル」という言葉を使用しているのか、何か特別な定義が加わっているのか、ご教示ください。	「マーケティングチャンネル」という概念で何を意図されているのかは存じ上げませんが、トレードチャンネルというのは、CPIに、倉庫などの流通インフラではなく、取引関係を想起して頂くためにあえて使った用語です。マラウイで一般的なものではありません。
5	13	第3条 実施方針及び留意事項 (3)詳細活動確認フェーズ(契約1期)と本格実施フェーズ(契約2・3期)	過去の貴機構の案件では、二段階で実施する場合、計画フェーズ後に詳細計画策定調査(ミッション)が実施されていたと思いますが、本案件においては、詳細活動確認フェーズ後の貴機構によるミッションは予定されておりますでしょうか。	「段階的な計画策定」方式を指していると理解しました。本案件では既に詳細計画策定調査を実施済みであるため、詳細計画策定詳細活動確認フェーズ(契約1期)後に官団員の派遣は想定していません。他方、中間レビューと終了時評価は行う予定です。

6	14	第2章 特記仕様書案 第3条 実施方針および留意事項 (3)詳細活動確認フェーズ(契約1期)と本格実施フェーズ(契約2・3期) 14頁10行目	「同時に、フェーズ1のなかで実施可能な活動も随時開始する。」とありますが、これはマラウイ政府側から生産に関する活動を早期に開始してほしいという要望があるためでしょうか？	マラウイ政府側は、なるべく早期の本格実施を期待していません。詳細活動確認フェーズで情報収集を行いつつも、実施可能な活動についてはなるべく開始していきたいと考えています。なお、ここでの実施可能な活動とは、生産に関する活動に限らず、本案件の全体を見通して開始できる活動すべてを指しています。
7	15	第2章 特記仕様書案 13頁(3)詳細活動確認フェーズ(契約1期)と本格実施フェーズ(契約2・3期) 15頁(6)プロジェクトの対象地域について	対象地域はブワンジェバレー灌漑地区、もう一つの灌漑地区とありますが、フェーズ1における現状や課題のボトルネック情報の収集は対象地域を含むコメバリューチェーンを対象に行うという認識でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。なお、もう一つの灌漑地区は、本案件開始後、フェーズ1での情報収集を踏まえて決定する想定です。
8	16	第2章 特記仕様書案 第4条 業務の内容 2本業務にかかる事項	「活動2-4. 対象農家に種子増産に関する研修を実施する」というのは、種子生産農家の育成を目指し認証を得るところまでを想定されておりますでしょうか？	既に認証を受けている種子生産農家のフォローアップ研修を想定しています。しかし、フェーズ1の段階で、コメのトレードチャンネルの強化のために一般種子生産農家を対象とする重要性が認められれば、対象に含める可能性もあります。
9	17	第4条 業務の内容 2. 本業務にかかる事項 (1)プロジェクトの活動に関する業務(現地研修の想定規模)	成果1にかかる現地研修の想定規模にかかる表において、「実施回数」の項目が、「約8回(2回/年×4回)を想定するが、」となっておりますが、文章の続きにつきましてご教示いただけますと幸いです。	「約8回(2回/年×4年)を想定する」に訂正(「が、」を削除)。
10	17	第2章 特記仕様書(案) 【2】特記仕様書(案) 第4条 業務の内容	「現地研修の想定規模は以下のとおり」、として成果1に係る研修が書かれておりますが、実施回数は「約8回(2回/年×4年)を想定するが、」で文章が途切れております。こちらは「約8回(2回/年×4年)」でよろしいでしょうか。	質問9に同じ。

11	17	2.本業務にかかる事項 (1)プロジェクトの活動に関する業務	「現地研修の想定規模は以下のとおり」の枠内の実施回数の箇所ですが、「…を想定するが、」で文章が切れているように思えます。続きの指示があれば、ご教示ください。	質問9に同じ。
12	17	第2章 特記仕様書(案) 【2】特記仕様書(案) 第4条 業務の内容 現地研修の想定規模	各研修の実施回数が想定されていますが、これは、「TOT」および「農家やバリューチェーン関係者」それぞれに対する研修の回数を示していますでしょうか？例えば、成果1の研修実施回数は、年2回×4年と想定されていますが、これはTOTを年2回×4年、農家・バリューチェーン関係者に対しても年2回×4年、という想定をしているということが良いでしょうか？あるいは、TOTを1回、農家・バリューチェーン関係者に対しての研修1回を以て年2回と考えますでしょうか。	研修実施回数は、TOTの回数を示しています。例えば成果1の研修実施回数は、TOTを2回/年×4年を想定しています。TOT後の研修(成果1の場合は、農家やバリューチェーン関係者向けの研修)については、現時点で規模感を特定することが難しく、PDMの指標決定と併せ、案件が始まってから決定します。同研修の必要経費は追って確認し、契約変更したいと思えます。
13	17	第2章 特記仕様書案 第4条 業務の内容 2本業務にかかる事項 現地研修の想定規模	対象地域は2か所となると理解していますが、現地研修の想定規模は、2か所の合計でしょうか？または1か所の想定でしょうか？	現地研修では、2つの対象地域からの研修対象者を、一か所に召集して同時に実施することを想定しております。
14	17	第2章 特記仕様書案 第4条 業務の内容 2本業務にかかる事項 現地研修の想定規模	「約8回(2回/年×4年)を想定するが、」の続きをご教示ください。	質問9に同じ。
15	17	企画競争説明書25頁 第2章 特記仕様書案	定額計上内で必要に応じて実施回数、参加者数、開催時期を提案可能という理解でよろしいでしょうか？	指定している規模感を下回らない場合、ご提案可能です。

16	18	第4条 業務の内容 2. 本業務にかかる事項 ④成果4 現地研修の想定規模	現地研修の想定規模の記載内容について、全ての成果に関する研修の参加者の欄に「TOT」と「農家やバリューチェーン関係者(または対象普及員)」の様に2種類の研修が記載されている場合があります。これはTOT研修を実施した上で同研修を受けた人材が講師となり、農家やバリューチェーン関係者に対して研修を行う2段階方式の研修を行うことを示していると理解しています。その場合、実施回数ほどどのように解釈すれば良いでしょうか。例えば実施回数の欄に「約4回(1回/年×4年)」と記載されている研修の場合は、TOTと農家等への研修の実施回数を合わせた回数が4回でしょうか。それとも記載されている研修回数にはTOTの研修実施回数は含まれておらず、TOT実施後の農家やバリューチェーン関係者向けの研修の実施回数のみが記載されていると捉えれば良いかその点について追加のご説明をいただけますと幸いです。	TOT研修の回数については、質問12に同じ。TOT以外の研修の回数は、TOT研修と同数で想定しています。なお、TOT以外には、トレーナーの日当のみの支出を想定しています。
17	18	2.本業務にかかる事項 (1)プロジェクトの活動に関する業務	・現地研修で「TOT約30名/回」とありますが、農家や協同組合に直接ではなく、普及員を対象としたトレーナー育成研修(TOT)で、研修を受けた普及員が農家に研修を行うとの理解で宜しいでしょうか。 ・また対象灌漑スキーム地区の普及員のみ対象との理解で宜しいでしょうか。	質問12に同じ。TOT対象となる流通業者や普及員等のトレーナーは、コメのトレードチャンネル全体を強化する観点から選定することを想定しています。
18	18	第2章 特記仕様書(案) 【2】特記仕様書(案) 第4条 業務の内容 現地研修の想定規模	成果2にかかる目的・内容で、「対象普及員および対象農家に対し、種子増産に関する研修を実施する。」との記載がございます。この種子増産とは、認証種子(Certified Seed)の生産に関する研修との意味でしょうか。	質問8に同じ。
19	23	第5条 報告書等 2. 技術協力作成資料	本業務では、既存の①コメ生産・加工技術、②イネ種子栽培技術、③SHEPにかかるガイドライン・マニュアルを見直すことを想定されておりますが、既にガイドライン・マニュアルがあるとの理解でよろしいでしょうか。具体的な業務の方法を検討するため、可能でしたら、①既存のコメ生産・加工技術、②イネ種子栽培技術、③SHEPにかかるガイドライン・マニュアルを共有いただけますと幸いです。	本業務では、各種マニュアルやガイドラインの作成または改定を行います。①、②にかかるガイドライン・マニュアルは、現状JICA内で所有しておりませんが、③はMA-SHEPで作成したガイドラインがございますので、共有可能です。 「MA-SHEP Guideline in March 2023_Final」の配付いたします。経済開発部農業・農村開発第二グループ edga2@jica.go.jpにご連絡をお願いします。
20	23	第5条 報告書等 2. 技術協力作成資料	「(3)コメの生産流通経路に関するマニュアルまたはガイドライン(成果3)」とはどのようなものを想定していますでしょうか。例えば、成果3はSHEPアプローチをベースに活動するので、「SHEPマニュアルをコメに合わせてアレンジしたもの」など具体的なイメージ(案)などを示していただければ幸いです。	成果3で作成されるガイドラインは、コメ生産者だけでなく、トレードチャンネル全体の活性化、強化に資するものを想定しております。それは既存のSHEPマニュアルをコメに置き換えるだけでなく、流通業者や卸売業者などのトレードチャンネルのステークホルダー全体を包含した形で作成いただきます。
21	25	第7条 機材調達	パソコンおよびプロジェクターは、2事務所に調達することを想定されておりますが、2事務所は具体的にはどこに設置されることで先方政府と合意されておりますでしょうか。	先方政府とは、農業省本省(リロングウエ)の農業局内に事務所を設置することについては合意済みです。それに加えて、デッサ県開発局、サリマ県農業事務所、リフウ稲作研究所等にサテライト事務所を設置することも検討範囲となります。

22	25	第7条 機材調達	調達が予定されているトラクターの具体的な仕様(馬力、重量)についてご教示いただけますと幸いです。また、金額(2,800,000円)内にアタッチメント(トレーラー等)も含まれているとの理解でよろしいでしょうか。	トラクターの定額計上の中には、トレーラー18馬力程度とアタッチメントを想定しています。必要なアタッチメントは、現地調査を踏まえて検討します。
23	25	第2章 特記仕様書(案) 【2】特記仕様書(案) 第7条 機材調達	「本業務では、機材調達を想定していない。」と記載されておりますが、その下に「調達機材の想定規模は以下のとおり。」とあります。本業務で機材調達を行うという事でよろしいでしょうか。	「本業務では、機材調達を想定していない。」を削除。
24	25	第7条 機材調達	P25に「本業務では、機材調達を想定していない。調達機材の想定規模は以下のとおり。」とありますが、P41でも機材費が定額計上となっていることから、「機材調達を想定している」との理解でよろしいでしょうか。	質問23に同じ。
25	25	第2章 特記仕様書(案) 【2】特記仕様書(案) 第7条 機材調達	調達機材の想定規模について、2複合機が1台×1事務所と記載がありますが、数量は2となっています。こちら、パソコンやプロジェクターと同様に1台×2事務所としてよろしいでしょうか。	ご指摘のとおりです。「1台×2事務所」に訂正。
26	25	第7条 機材調達	表内に「パソコン 2台×2事務所」「プロジェクター 1台×2事務所」とありますが、対象地域(Bwanjeともう1か所)に2事務所を構え、それぞれに設置するというのでしょうか。また、「複合機 1台×1事務所」はマラウイ政府に提供してもらう執務スペースへの設置という理解でよろしいでしょうか。	事務所の場所については、質問21を参照ください。2つの事務所それぞれに機材を設置する想定です。2つ目の質問については、質問25も参照ください。
27	25	第2章 特記仕様書案 第7条 機材調達	耕運機とトラクターが調達機材に記載されていますが、これらのオペレーターの育成も想定されていますでしょうか？トラクターは牽引用とありますが、耕耘用途は想定されていないのでしょうか？	オペレーターの育成は想定していません。トラクターは、耕耘用途も想定していますが、必要なアタッチメントは現地調査を踏まえて検討します。
28	25	第2章 特記仕様書(案) 【2】特記仕様書(案) 第7条 機材調達	パソコンやプロジェクターを2事務所に配備することになっていますが、この2事務所とは、どこどこの事務所を指していますでしょうか。	質問21に同じ。
29	25	第7条 機材調達	「調達機材の想定規模は以下のとおり。」と表に機材が列記してありますが、機材の追加や削除は可能でしょうか。調査の過程で必要機材が変わって来ると予想されます。「定額計上の金額内なら可能」など予算面も含めてご教示ください。	定額計上の金額内であれば、調達機材の変更は可能です。
30	25	第2章 特記仕様書(案) 【2】特記仕様書(案) 第7条 機材調達	調達機材の想定規模について、5耕耘機が1台×2圃場と記載がありますが、数量は4となっています。内容、または数量に修正がございましたらご教示いただけますと幸いです。	1台×2圃場で数量は2に訂正。
31	25	第2章 特記仕様書案 第7条 機材調達 および 別紙 案件概要表	28頁では、機材供与:普及活動用経費、車両等と記載がありますが、25頁では車両は含まれていないようです。車両は機材調達に含まれていないということでしょうか。	車両はJICAが2台調達中です。想定車種は、SUVとピックアップです。調達時期は10月を想定しています。
32	28	案件概要表 3. 事業概要 (7)投入(インプット) 1)日本側 ③機材供与	日本側の投入として、「車両等」が挙げられておりますが、①車両の調達台数、②調達予定の車両の車種、③調達時期をご教示いただけますと幸いです。	質問31を参照ください。
33	28	案件概要表 3. 事業概要 (7)投入(インプット) 2)マラウイ国側 ①カウンターパートの配置	JCC構成メンバーとしてのカウンターパートの配置について記載がございましたが、専門家と活動を共にする、フィールドレベルでのカウンターパートの配置について、現時点での想定(人数、フルタイムかパートタイムか、分野等)について、ご教示いただけますと幸いです。	フィールドレベルのカウンターパートが意図するものがわかりかねますが、現地では農業省関係者やコメのトレードチェーン関係者とともに活動していただく想定です。
34	29	別紙 案件概要表 4. 事業の枠組み (1) 上位目標指標	「コメの自給率が適正水準に維持される」とありますが、ここでの適正水準とはどのようなものを想定されておりますでしょうか。	PDMの目標に用いている基準値や判断基準を本案件開始後のJCC等の関係者会合で協議の上決定します。

35	30	別紙 案件概要表 4. 事業の枠組み (3) 成果2	成果で「認証種子が対象農家によって利用される」ことが求められていますが、指標において、2-1)は「適切な種子」、2-2)では「十分な良質の種子」という表現です。「認証種子」以外の種子も含まれることも想定されるという意味でしょうか。	対象は認証種子のみを想定しています。
36	38	第3章 プロポーザル作成に係る留意事項 2. 業務実施上の条件 (2)業務量目途と業務従事者構成案	プレ公示の時点では、業務量の目途は72.5人月となっておりますが、企画競争説明書では、66.7人月となっております。貴機構の想定では、本業務は66.7人月ということでしょうか。また、プレ公示から業務内容の減少など、人月が減少した理由をご教示いただけますと幸いです。	現在の想定は66.7人月です。プレ公示段階から人月が減少した理由は、物価上昇や為替変動のリスクを考慮した結果となります。
37	41	4. 見積書作成にかかる留意事項 (4)定額計上について	R/Dによると、2024年のカウンターパート(C/P)旅費は先方政府の会計年度の都合で確保が難しく、プロジェクトにて負担することとなっております。本旅費についても、定額計上として記載いただいている「現地研修・セミナー開催費(9,300,000円)」に含まれているとの理解でよろしいでしょうか。もし含まれていないようでしたら、本旅費については定額計上としていただくことは可能でしょうか。	C/Pの出張旅費は「現地研修・セミナー開催費」に含まれておりません。本見積で計上をお願いいたします。
38	41	第3章プロポーザル作成に係る留意事項 4. 見積書作成にかかる留意事項 (4)定額計上について	第三国研修にかかる経費には、同行者であるコンサルタント側の、経費は含まれておりますでしょうか。	コンサルタント側の経費も含めて想定しております。

